

はじめに

公共図書館がおもしろい。2017 年度松山大学図書館情報学講演会では、講師に安城市図書館情報館長の岡田知之氏を迎え、「チャレンジする公共図書館 ―安城市図書館情報館の取り組み―」という演題でご講演いただいた。

安城市図書館は、平成 29 年 6 月 1 日に開館した安城市の中央図書館で、安城市の中心市街地活性化事業により整備された複合施設「アンフォーレ」の中核を担っている。施設は PFI 事業により建設されたが、運営は安城市の職員による直営である。ビジネス支援や子育て支援などの課題解決支援サービスの充実や施設設備の ICT 化によるサービスの高度化が図られ、多様な学びを支援する生涯学習拠点として位置づけられている。また、安城市は「ごん狐」の作品で知られる児童文学者新美南吉(にいみ なんきち)ゆかりの地でもあり、館内には南吉関連のスペースや資料、キャラクター等が備えられている。

このような安城市図書館の様々な取り組みを知ることは参加者にとっても大変刺激になったようで、講演後の意見交換の場では多くの質問が寄せられた。そうした質問ひとつひとつに岡田講師が真摯に回答して下さったこともあり有意義な機会を得る場となった。

2017 年度は 1 名の学生から図書館実習の履修希望があった。受入先は松山市立図書館で実習生は図書館の現場で様々な業務を体験し職員の方から丁寧なご指導をいただいた。実習生にとって外から見ているだけではわからない図書館の多くの仕事について理解を深める貴重な機会となったようである。改めて快く実習生を受け入れていただいた松山市立図書館の館長をはじめ職員の皆様には感謝申し上げたい。

2017 年度から、一般社会人を対象に図書館についての基礎的事項を学習することができる「図書館ベーシック・プログラム」が履修証明プログラムとして開設され、このプログラムを司書課程が担当した。2017 年度は 1 名の参加があった。

2017 年度末をもって司書課程担当専任教員の早瀬均教授が退職された。早瀬教授は司書・司書教諭課程のウェブサイト立ち上げや図書館情報学講演会の実施など多くの功績を残された。また、児童サービスを担当されていた非常勤講師の吉見八重先生も 2017 年度で退職されることになった。吉見先生は読み聞かせやブックトークなどの演習を行い学生の指導に熱心に取り組まれた。

これまでの両氏の多大なるご尽力に対し感謝を申し上げるとともに、今後のご活躍とご健康を心からお祈りする次第である。

2017 年度から司書課程では次年度の事業計画書を提出することになった。事業計画書では「図書館において専門的業務を担当するために必要な基礎的な知識とスキルを身につけ

るとともに、社会人になっても必要となる情報リテラシー能力を備えた人材の育成を図ること」を目標として掲げた。また、事業計画書の提出を、これまで司書課程が実施してきた各種事業を振り返り、今後の事業を見直す機会として捉え、司書課程の一層の充実を図っていきたい。

2018年9月28日
司書課程特別主事
片山俊治